



80年前の面影はなく

い。陛下がご使用にならなかつたとか面白おかしく話題にしたこと、懐かしい。

## 私は小さな、この町を愛す

中条東第一町会 大輪 貴念夫

穏やかな秋の日曜、同じ町会の大きな病院の秋祭りに女房殿と娘に伴われ出掛けた。華やいでも楽しめた時間だった。会場になっていた広

場は病院の駐車場。気がつけばそこは私の子どもの頃は隣町で小学校の同級生がいた処、小さな家がいっぱい建っていた場所だった。帰宅してやすらぎながら私の町の70年前、80年前を振り返っていた。この病院の前には長野県繊維工業試験場があった。広い敷地で良く遊び場にしていた。確かテニスコートも何面かあった。この町の運動会にも使用させていた。ことを思い出した。天皇陛下もおいでになったのでは。管理をしていた若夫婦が私の家族に良くしてくれた。天皇陛下がおいでになるという事でトイレが作られたが、陛下がご使用にならなかつたとか面白おかしく話題にしたこと、懐かしい。



令和7年11月1日現在

総世帯数	1,352世帯
総人口	2,308人
男	1,109人
女	1,199人

振り返ってこの町道も広く舗装され、子どもの頃の家も皆無くなって、この町で子どもの頃を過ごした仲間とはほとんどいなくなっている。私が長く生きすぎた所為だろうか、私が生まれた時から一度も動くことなくこの町で生きてきた所為だろうか、終戦直後の面影を残すものは何も残っていない。

私の記憶する限りではこの小さな町で3回も火事に見舞われている。しかしこの町は現在病院の職員の皆様が朝はもうろん夕も夜も行き来してくれている。寂しい町では決していない。

私はまさに井の中の蛙、広い日本や広い世界も知らずに生涯をこの町ですごそうと思う。井の中でも青い空も、美しい月もお天道さんも光を届けてくれた。私はこの町を愛する。美ヶ原高原も美しい。

## まつもと市民芸術館

### 避難所開設訓練

長沢町防災部長 竹内 弘人

令和7年10月5日（日）、まつもと市民芸術館において避難所開設訓練が開催されました。第二地区防災訓練として昨年に引き続き2回目の開

催です。訓練内容としては  
・災害初動対応について講義  
・AED操作方法等救護訓練  
・瓦礫下から被災者救出方法  
・搬送、応急手当訓練  
・炊き出し、配食訓練  
・災害非常食体験訓練  
が行われ、災害時の対応を学ぶことができたと感じます。

今回の訓練の想定は、「糸魚川―静岡構造線断層帯でマグニチュード8の地震が発生し、松本市では震度6強を計測。多数のけが人、家屋の倒壊等の甚大な被害が発生」というものです。

これまでも、東日本大震災など、大きな地震が度々発生してきましたが、正直なところ実感があまり湧いてきませんでした。しかし昨年発生した能登半島の地震は、同じ北信越地域というところもあり、観光で何度も訪れた輪島の朝市が焼け野原になってしまった情景を見るにつけ、防災意識がいよいよ自分事として捉えられるようになってきています。

昨年からの避難所開設訓練は、避難所運営委員会の皆様のご尽力により、施設の部屋割りや町会役員の役割分担など、より実際に災害が発生した場合に即した内容となってきました。より多くの皆様が訓練に参加されることを願います。

災害時には自助と共助が必要です。日頃から非常食の準備や非常持ち出し袋の用意など、まずは身近にできることから災害に備えていこうではありませんか。



市民芸術館のシアターパークに全町会が集結して訓練開始

## 源智の井戸を守り隊 発足から半年の歩み

募りによって発足したボランティアグループ。10月末の時点で30人を超えるメンバーが登録されてお

今年4月からは「源智の井戸を守り隊」にバトンタッチすることになりました。源智の井戸を守り隊は、公

この源智の井戸は地元の有志による「井戸を守る会」が年間を通して、早朝の清掃や周辺の環境整備を行ってまいりました。30年に亘る活動も会員の高齢化等で継続が難しくなり、

「井戸を守る会」が年間を通して、早朝の清掃や周辺の環境整備を行ってまいりました。30年に亘る活動も会員の高齢化等で継続が難しくなり、

源智の井戸は昭和42年に松本市特別史跡に指定されたほか平成20年に「まつもと城下町湧水群」が平成の名水百選に選定された際、松本の湧水群を代表する井戸のひとつとして広く知られるようになり市の内外から多くの人



井戸の周りも丁寧に清掃しています

「井戸を守る会」が年間を通して、早朝の清掃や周辺の環境整備を行ってまいりました。30年に亘る活動も会員の高齢化等で継続が難しくなり、

「井戸を守る会」が年間を通して、早朝の清掃や周辺の環境整備を行ってまいりました。30年に亘る活動も会員の高齢化等で継続が難しくなり、

り、毎月第1土曜日に清掃活動を行っています。発足当初は井戸を守る会の清掃の手順を確認しながら行っていた清掃も、玉石や内壁から擦り落とした藻を水中ポンプで水ごと吸い出した



井戸を巡りながら松本の湧水を学ぶ講座に参加



蓋を外せたのは画期的なことでした

りでも広めていきたい」等々さまざまな動機で参加しているとのこと。第二地区公民館が開催した「井戸をめぐる講座」にも参加する等、「水」を学びながらそれぞれに活動

## 地域の医療機関とふれあい健康教室



ふれあい健康教室のひとつコマ

福祉ひろばで毎月第4金曜日に開催される「ふれあい健康教室」では地域の医療機関の医師や看護師さんを講師に招いて医師自らが歌いながら音楽療法の説明をしたり、気軽な雰囲気です血管年齢をチェックしたりと、地域の医療機関をより身近に感じられる教室を折に触れて企画しています。

第二地区には入院施設を備えた医療機関が3院（相澤病院・相澤東病院・藤森病院）あります。一昨年の3月に開催された「市長とのこんだん会」では「第二地区の宝」として、病院と地域の関わり・地域ケアの取り組みが挙げられています。

## すすき川

この記事を目にしていただく頃は、暑さも和らいでいる事と思う。

それにしても、この夏（特に8月）の暑さは極めて異常だった。9月になっても朝晩は少し涼しくなったが日中は真夏日となる日も。

来年も、そして再来年も同様の暑さになるのではないかと、思うとつんざりである。

この暑さをもたらす主原因は二酸化炭素排出による地球温暖化（灼熱化？）とよく言われるが、そうだとするとそれを排出するのは人類である。この暑さは痛めつけた自然界からの復讐かも知れない。

ところで、こも暑くなると勢い、電力多消費のエアコンのお世話になるのだが、ひとつ疑問を感じた。

それは、かつて酷暑期になると国や電力会社から強力な節電要請がしつこい位あった。しかし、最近はその要請を見聞きしない。不思議だ。

果たして、電力は十分に足りているんだ。もしかしたら太陽光発電、風力発電、休眠火力発電所稼働が電力事情に寄与しているのかも知れない。

（青柳）